

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく「東京国際空港航空灯火・電力監視制御システム保守請負」に係る落札者の決定について

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札を行った「東京国際空港航空灯火・電力監視制御システム保守請負」については、下記のとおり落札者を決定しました。

1 落札者の名称

東芝電機サービス株式会社

2 落札金額

330,000,000円（税抜）

※業務期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）3 年間分の額

3 落札者の評価点

標準点及び加算点	入札価格（税抜）	評価値
134.0点	330,000,000円	40.6060点

注）評価値は、標準点及び加算点の合計を入札価格で除した値を 10 の 8 乗倍したもので、小数点 5 桁以下は切り捨て。

4 落札者決定の経緯及び理由

東京国際空港航空灯火・電力監視制御システム保守請負における民間競争入札実施要項及び入札説明書に基づき、入札参加者 1 者から提出された競争参加資格確認申請書類及び技術提案書について、外部有識者を含む評価者により審査した結果、入札参加資格及び評価基準を満たしていた。

入札価格については、2 月 4 日に開札した結果、1 者が予定価格の範囲内であったことから、1 者の総合評価を確認するための審査を行い、上記の者が落札者となった。

5 落札者における当該公共サービスの実施体制及び実施方法の概要

落札者が行う東京国際空港航空灯火・電力監視制御システム保守請負は、東京国際空港に設置されている航空灯火及び電気施設の運用状況等を総合的に把握するための監視制御システムに対して点検保守、運転監視、緊急時対応の 3 業務である。

これらの実施体制については、航空灯火及び電気施設の状態監視及び動作制御を行う監視制御システムの機能維持を図るため、常時良好な状態に保つよう保守請負を行うこととしている。

実施方法については、空港の円滑な運用及び航空機の安全運航を確保するため、作業区域において安全・確実に決められた時間内で終了させる。